

2019 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名 中島俊介	職名 教授	学位 博士 (学術)
研 究 分 野	研究内容のキーワード	
心理学	メンタルヘルス 心理教育 地域精神保健	
研 究 課 題		
平和・文化的活動における学生のメンタルヘルス向上効果の心理教育モデルの構築		
担 当 授 業 科 目		
保育内容 (人間関係)	教育心理学	行動科学 こころと人間 発達心理学 保育の心 理
授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)		
<p>授業科目名【保育内容 (人間関係)】</p> <p>少人数なので演習中心の講義となった。そのために学生との対話型授業に工夫と努力した。心理劇を演じて実際の保育現場で起こりがちな「ケンカや遊び場面」での人間関係の問題点に自然に気付くように配慮した。人間関係の基礎である、「聞く力・書く力・話す力」が向上したと自負している。</p>		
<p>授業科目名【教育心理学】</p> <p>教育学と並んで教職科目の重要科目の一つである。教員採用試験合格を意識して、必ず「試験問題風の課題」をテーマにするように心がけた。期末の定期試験の内容も採用試験を意識した内容とした。教師として最も重要な「人権感覚」のセンスも磨けるように配慮した。</p>		
<p>授業科目名【行動科学】</p> <p>受講人数が少人数の為、ゼミ風の授業ができて学習の効果が大きかったと思う。学生の集中力をいかに途切れないようにするか考えを深める課題に留意した。学生の自主的な意見をできるだけ出させるように「聞く」態度を教師の基本的な姿勢と考えキープできるように努力した。次年度さらにこの点に工夫を加えたい。</p>		
<p>授業科目名【こころと人間】</p> <p>学生の心理学講義に対する興味と集中力をいかに高めて持続させるかについて毎年苦慮する。今年度も「映像を講義中に必ず入れる」は実行できた。「質疑を活発にする」はなかなか困難であったが、できるだけ発問をして意欲を喚起した。</p>		
<p>授業科目名【発達心理学】</p> <p>看護学科の必須科目である。看護にあたっては人間の年齢ごとの発達課題を学習しておくことは重要である。</p> <p>エリクソンの「人生 8 段階説」を基盤にして胎児期から老年期までの発達課題とその周辺のトピックについて講義した。活発な質問や自主的な発表を試みたがなかなか難しかった。次年度の課題としたい。</p>		
<p>授業科目名【保育の心理】</p> <p>保育士として知っておきたい「子どものこころのありよう」と「保育者自身のこころのありよう」さらに「保護者のこころのありよう」について理解と共感を深められるように講義を展開した。小人数なので、きめ細かい指導ができたと自負している。</p>		

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
日本心理学会 日本教育心理学会 日本人間性心理学会		2018年4月加入 1982年4月加入 1998年4月加入

2019年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) なし				
(学術論文) なし				
(翻訳) なし				
(学会発表) なし				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
なし			

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
平和活動における学生のメンタルヘルス向上効果の研究	クラウドファンディング	1080000 円	

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
北九州市人権施策審議会委員（第一期・二期・三期・四期、現在に至る）	第三期より委員長	2003年から2021年6月まで

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

なし
